

氏名	高崎 博司	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	運動器理学療法				
学位	博士(理学療法学)				
学歴	2004年札幌医科大学理学療法学科、6年札幌医科大学大学院修士課程保健医療学研究科徒手療法学				
経歴	2013年クイーンズランド大学博士研究員、14年埼玉県立大学理学療法学科講師				
所属学会(役職)	日本理学療法士協会、日本整形外科学スポーツ医学会、日本徒手理学療法学会(理事)、埼玉アスレチックリハビリテーション研究会(理事)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事)、専門リハビリテーション研究会、International Association for the Study of the Pain				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
2	理学療法エビデンス大事典 現場で使える実践ガイド	共著	あり	西村書店,P488	ダイアン・V・ジュエル 著 森山英樹 総監訳、高崎博司担当は第17章	2019.7
1	運動学とバイオメカニクスの基礎	共著	あり	南江堂,P366	監訳: 黒澤和生/赤坂清和/河西理恵、高崎博司担当は第Ⅱ部	2019.9
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
2	Jack-knife stretching and active knee extension stretching equally improve the relative flexibility of the hamstring muscles between the low back: A randomized controlled trial	共	あり	Physical Therapy in Sport, 38, 139-145	Nishimoto K, Takasaki H.	2019.7
3	Difference between physical therapist estimation and psychological patient-reported outcome measures in patients with low back pain	共	あり	PLoS ONE, 15(1), e0227999	Miki T, Kondo Y, Takebayashi T, Takasaki H.	2020.1
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	The most common classification in the Mechanical Diagnosis and Therapy for patients with non-acute knee pain was Spinal Derangement	単独		World Confederation for Physical Therapy 2019, Geneva	○Takasaki H.	2019.5
2	Effects of Jack-knife stretching and active knee extension stretching on the sagittal lumbopelvic curvature in sitting: a randomized controlled trial	共同		World Confederation for Physical Therapy 2019, Geneva	○Nishimoto K, Takasaki H.	2019.5
3	Comparisons of hamstring flexibility between individuals with and without low back pain: systematic review with meta-analysis	共同		Asian Confederation of Orthopaedic Manipulative Physical Therapy congress 2019, Tokyo	Hori M, Hasegawa H, ○Takasaki H.	2019.9
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究)			腰痛による労働者の出勤状況と医療費支出に影響する二次予防戦略を含む因子の特定	研究代表者	2019.4~2022.3
2	埼玉県立大学 奨励研究 若手			タブレット型ホータブル超音波エコーを用いた腹横筋ホームエクササイズの有効性検証:無作為臨床試験	研究代表者	2019.4~2020.1
3						

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	運動器障害治療学特論(大学院)	○	16	運動器理学療法マネージメントに関する最新知見を紹介した
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床推論演習	○	8	クリニカルリーズニングについて講義・演習を行った
2	徒手理学療法学	○	8	徒手療法テクニックの演習を行った
3	機能診断学実習	○	32	機能診断の方法を指導した
4	物理療法学実習		4	徒手的牽引や軟部組織モビライゼーションの指導をした
5	日常生活指導実習		32	ADL動作指導の方法を指導をした
6	理学療法特別演習		1	運動学領域の国家試験対策を行った
7	理学療法セミナー(OSCE1)		1	OSCEの試験を行った
7	理学療法セミナー(OSCE2)		1	OSCEの試験を行った
7	リハビリテーション学演習(運動器障害治療学)(大学院)	○	32	運動器理学療法マネージメントの方法を演習した
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	IPW実習		2019.4～2019.10	学生が自主的に参加できるようサポートした
2	臨床教育実習I		2020.2～2020.3	学生評価と実習後の振り返りを行った
2	臨床教育実習II		2019.10～2019.11	実習地訪問、学生評価、実習後の振り返りを行った
2	臨床教育実習III		2019.4～2019.6	実習地訪問、学生評価、実習後の振り返りを行った
2	臨床教育実習IV		2019.6～2019.8	実習地訪問、学生評価、実習後の振り返りを行った
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2020.3	主指導 6名	副指導 名
2	修士論文	2019.4～2020.3	主指導(指導教員) 名	副指導(指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	21期 学年担任	2019.4～2020.3	学生の生活・学習・進路相談	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第54回日本理学療法学会学術研修大会 in 徳島 2019	日本理学療法士協会	最新のエビデンスを明日からの臨床につなげる(徒手的理学療法)	2019.5
2	第3回国際スポーツ競技対策委員会 技能認定試験	埼玉県理学療法士会	技能認定試験	2019.6
3	スポーツリハビリテーション技術研修会	埼玉県理学療法士会	スポーツ現場におけるテーピング技術(上肢編)と徒手療法(上肢編)	2019.7
4	スポーツリハビリテーション技術研修会	埼玉県理学療法士会	スポーツ現場におけるテーピング技術(下肢編)と徒手療法(下肢編)	2019.9
5	日本スポーツリハビリテーション学会 研修会	日本スポーツリハビリテーション学会	アスリートに多い頸椎・胸椎の機能障害と治療のためのHands-on	2019.9
6	2019年度臨床実習指導者講習会	埼玉県立大学	Mechanical Diagnosis and Therapyの紹介	2019.9
7	国際スポーツ競技対策委員会第9回研修会	埼玉県理学療法士会	スポーツ現場を想定したHand-on評価と治療(実技指導:応用編)	2019.11
8	国際スポーツ競技対策委員会 第10回研修会	埼玉県理学療法士会	スポーツ現場で求められる理学療法スキル・ブラッシュアップ	2020.1

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事	2014.4～現在	
2	埼玉県理学療法士会	国際スポーツ競技対策委員	2016.10～現在	
3	The McKenzie Institute International	MII Research Advisory Committee	2017.1～現在	
4	日本徒手理学療法学会	理事	2017.4～現在	
5	埼玉アスレチックリハビリテーション研究会	理事	2017.4～現在	
6	日本理学療法士協会	頸部痛理学療法診療ガイドライン作成委員	2017.6～現在	
7	日本理学療法士協会	ガイドライン・用語策定委員会 アドバイザー	2018.3～現在	
8	日本徒手理学療法学会	徒手理学療法雑誌編集委員	2018.4～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	埼玉県の理学療法士	2019世界ポートジュニア選手権大会のメディカルサポートをするための英会話指導	2019.7
1	国際協力事業	2019世界ポートジュニア選手権大会	メディカルスタッフとして2019世界ポートジュニア選手権大会に参加し、選手のメディカルサポートを行った	2019.8
2	地域貢献活動	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第10回学術集会準備委員長	2019.4～現在
2	地域貢献活動	専門リハビリテーション研究会	専門リハビリテーション研究会第20回学術大会準備委員長	2019.4～現在
3	国際協力事業	Musculoskeletal Science and Practice	論文の査読	2019.4～現在
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	倫理委員会		2019.4～現在
2	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員会(大学院)		2019.4～現在
3	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会		2019.4～現在
3	大学広報活動	オープンキャンパス 学生相談サポート		2019.4～現在
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				